

(事業 1) 北区制 70 周年記念式典・北区民ふれあい交流会

1 概要

日 時：令和 7 年 9 月 4 日（木）午後 6 時 30 分～午後 9 時

会 場：ホテルオークラ京都 4 階 暁雲の間

内 容：第一部 北区制 70 周年記念式典

第二部 北区民ふれあい交流会

出席者数：282 名（うち 2 名は第一部のみ） ※内訳は「3 出席者」参照

会 費：1 万円

開催目的：長年にわたり北区に貢献されている区民及び関係者の皆様への感謝を示すと同時に、多様な主体の交流を促進することで、地域の絆と愛着を深め、北区の一層の活性化と連帯感の醸成を図ることを目的に開催。

2 プログラム

	内容	登壇者等（敬称略）
第一部 （約 30 分）	主催者式辞	北区制 70 周年記念事業実行委員会委員長 <u>池坊 専好</u>
	来賓祝辞	京都市長 <u>松井 孝治</u>
	来賓・主催者紹介	来 賓：京都市長、衆議院議員、京都市会議員、 京都府議会議員、神社仏閣、大学、医師会等 主催者：委員長、副委員長、顧問、参与
	祝賀アトラクション①	書道家 <u>高岡 亜衣</u> ※詳細は「4 祝賀アトラクション」参照
（約 5 分）	舞台ステージ 寄贈セレモニー	京都紫野ロータリークラブ 会長 <u>山口 琢也</u> ※詳細は「5 寄贈セレモニー」参照
第二部 （約 115 分）	鏡開き	北区内 18 学区代表者等
	乾杯	北区長 <u>川妻 聖枝</u>
	一言コメント	地元関係者、地域代表者等 ※詳細は「6 一言コメント」参照
	祝賀アトラクション②	歴代区長パフォーマンス ※詳細は「4 祝賀アトラクション」参照
	閉会挨拶	北区未来につながる区民会議 会長 <u>高奥 英路</u>
全体	司会進行	コミュニティラジオ京都 事務局長 <u>廣瀬 由美</u> （北区制 70 周年記念事業実行委員会 幹事）
	演台花	華道家元池坊 次期家元 <u>池坊 専好</u> （北区制 70 周年記念事業実行委員会 委員長）
	記念品	北山杉製 お箸（製作：京都北山丸太生産協同組合） ※詳細は「7 記念品」参照

3 出席者

属性等		人数
主催	北区制70周年記念事業実行委員会（北区地域代表者、北区各種団体長含む）	37名
来賓	京都市長、衆議院議員、京都市会議員、京都府議会議員、 神社仏閣、大学、医師会等	24名
関係者	北区事業関係者、地域企業等	57名
学区		152名
職員	北区役所職員、元北区長	12名
計		282名

※うち2名は第一部のみ出席

※上記のほか、案内を送付した約70名（主催、来賓、関係者）が欠席

4 祝賀アトラクション

（1）書道パフォーマンス

書道家 高岡 亜衣 氏による書道パフォーマンスを実施。当式典及び交流会の開催目的の一つである「愛着醸成」と「交流促進」を表現するため、「北区愛」「絆」の2単語を揮毫いただいた。2枚のパネルは、区民の皆様にも広く鑑賞いただくため、北区役所本庁舎2階の区民交流スペースで展示中。



（2）歴代区長パフォーマンス

北区制70周年記念事業実行委員会の事務局を務める北区役所から出席者の皆様への感謝を伝えるため、北区制60周年以降に北区長を務めた3名の元区長による、各種パフォーマンスを実施。

ア 長谷川 淳一 元区長（平成25年度～平成27年度）

『お祝いメッセージ』※本人欠席のため司会による代読

イ 松本 和加子 元区長（平成28年度～令和元年度）

『フラダンス』※北区地域女性連合会野田会長と川妻北区長がサプライズ出演

ウ 武田 淳 元区長（令和2年度～令和3年度）

『健康体操』



5 寄贈セレモニー

「京都紫野ロータリークラブ」から「北区未来につながる区民会議」へ寄贈いただいた舞台ステージについて、令和7年5月の北区民ふれあいまつり2025において寄贈セレモニーを執り行う予定だったが、悪天候により中止となったことを受け、当式典及び交流会の合間にセレモニーを実施。



6 一言コメント

出席者の紹介と出番の創出を目的に、第二部において、一部の出席者（関係者6名、学区19名）にご挨拶をいただいた。



7 記念品

北区の銘木である「北山杉」の普及啓発、利用促進を目的に、北区制70周年式典の出席者の皆様への記念品として北山杉製のお箸を作成。お箸には、「KITA 70th Anniversary」の文字と「中川学区シンボルマーク」を刻印。

製作は、京都北山丸太生産協同組合。



8 当日の様子



主催者式辞（池坊委員長）



来賓祝辞（松井京都市長）



鏡開き



乾杯挨拶（川妻区長）



閉会挨拶（高奥区民会議会長）



司会進行（廣瀬幹事）



演台花（池坊委員長）



会場の様子

(事業2) 北区区民茶会

1 概要

日本のこころである茶の湯文化を、「見て」「触れて」「知って」いただくために、北区では初めてとなる「北区区民茶会」を開催する。

2 事業内容

日 時 令和7年12月14日(日) 10:00～17:10
場 所 平野神社 参集殿
流 派 速水流
対 象 北区在住又は通勤・通学の方 ※小学生以下は要・保護者同伴
参加者数 153名
主 催 京の暮らしの文化普及啓発実行委員会
協 力 茶道速水流、平野神社

3 スケジュール

9:00～	献茶 (拝殿でお茶を点てて奉納する儀式)
10:00～11:50	お茶席 (①10:00 ②10:40 ③11:20)
12:00～12:40	休憩
12:40～17:10	お茶席 (④12:40 ⑤13:20 ⑥14:00 ⑦14:40 ⑧15:20 ⑨16:00 ⑩16:40)

※40分間隔で開催、1席30分で席毎に10分で入れ替え

4 開催結果(アンケートより)

- 参加者は10歳未満から80代以上まで幅広く、「(お茶会への参加は) 今回が初めて」という方が2割を占めるなど、伝統文化に興味はあっても、参加経験のなかった参加者の敷居を下げ、お茶席を体験する機会を提供することが出来た。一方、お茶会への参加経験が「10回以上」の方が4割以上を占めており、日頃から茶道に親しんでいる方にも多数参加していただけた。
- 献茶式、茶席ともに、「とても良かった」「良かった」が回答者の95%以上を占めており、また、自由記述においても継続開催を望む声が多数聞かれるなど、参加者の満足度は非常に高かった。
- 「北区区民茶会への参加を通じて、北区の魅力を感じていただけましたか？」という質問に対しては、85%以上が「とても感じた」「感じた」と回答しており、北区の魅力を再発見していただく機会を提供できた。

5 開催の様子など



平野神社



開会の御挨拶



献茶式



お茶席

(事業3) 北区制70周年記念事業フォトコンテスト

1 フォトコンテストの概要

(1) 募集テーマ 北区にある「自然・歴史文化」「賑わい」「とっておきの場所」

(2) 部門

ア 一般部門・・・時期を問わず、北区で撮影された写真

イ あの頃の北区部門

・・・1955年(昭和30年)～2015年(平成27年)頃に北区で撮影された写真

(3) 応募期間 令和7年8月20日(水)～12月31日(水)

(4) 応募方法 専用の特設サイトから応募 <8月20日(水)公開>

※ 作品のデータ化が難しい方、サイトからの応募が困難な方については、北区役所に写真を御持参していただき、必要事項を聞き取ったうえで区役所職員が投稿。

(5) 応募資格 プロは除き、どなたでも応募可能。(個人・団体の別、年齢、国籍は不問)

(6) 運営 主催：北区制70周年記念事業実行委員会、共催：北区役所

協力：京都写真家協会、イオンモール北大路

(7) 表彰部門及び賞金額等

表彰部門		内容		賞金額
北区長賞		一般	北区長が選ぶ特に優れている作品。(部門優秀賞以外)	5,000 円
北区制 70 周年記念事業実行委員長賞		あの頃の北区部門	実行委員長が選ぶ特に優れている作品。(部門優秀賞以外)	5,000 円
イオンモール北大路賞		一般	イオンモール北大路のゼネラルマネージャーが選ぶ特に優れている作品。(部門優秀賞以外)	イオンモール北大路で使える商品券 (5,000 円分)
部門優秀賞	自然・歴史文化	一般	テーマの中で1番優れている作品。	5,000 円
		あの頃の北区部門		5,000 円
	賑わい	一般		5,000 円
		あの頃の北区部門		5,000 円
	とっておきの場所	一般		5,000 円
		あの頃の北区部門		5,000 円
070（70 歳以上）賞		一般	70 歳以上の参加者の作品で一番優れているもの。	5,000 円
		あの頃の北区部門		5,000 円
U18（18 歳以下）賞		一般	18 歳以下の参加者の作品で優れている上位 20 作品。	西陣織のハンカチ

※「070(70歳以上)賞」及び「U18(18歳以下)賞」については、御本人が撮影されたものに限り
ます。

2 応募状況

投稿総数	336 作品
〔 審査対象	321 作品
〔 審査対象外	15 作品

<応募テーマ別作品数 ※審査対象外を除く>

【一般部門】 250 作品

(内訳)	
自然歴史文化	122 作品
賑わい	6 作品
とっておきの場所	87 作品
070 (70 歳以上)	15 作品
U18 (18 歳以下)	20 作品

【あの頃の北区部門】 71 作品

※1955 年（昭和 30 年）～2015 年（平成 27 年）頃に撮影された写真

(内訳)	
自然歴史文化	27 作品
賑わい	12 作品
とっておきの場所	10 作品
070 (70 歳以上)	22 作品

3 受賞作品

北区長賞（1点）

無病息災を祈って（受賞者：長谷川 悟／撮影場所：玄武神社）



無病息災を祈ってやすらい祭りが奉納されました。

区長コメント：色彩のコントラストが大変美しいです。“北区らしさ”を感じる作品で、場所が玄武神社というのもいいですね！見ていて元気が出る、まさに無病息災が伝わる作品です。

講評：青空のブルーと衣装の鮮やかな赤、そして袴の白の対比が非常に美しい写真です。低い位置から見上げるようなアングルで演者の大きく開いた足の構えや、天に向かって伸びるような姿勢が強調され、演者のダイナミックな動きをさらに引き立てています。力強く、躍動感に溢れた素晴らしい作品です。

北区制70周年記念事業実行委員長賞（1点）

上賀茂小学校で習字の授業（受賞者：石田 誠一／撮影場所：上賀茂小学校）



昭和35年。上賀茂小学校で習字の授業。一人だけカメラ目線！懐かしい旧校舎です。

池坊委員長コメント：窓辺の雰囲気、あどけない子どもたちの表情など、“あの頃”が美しい陰影とともに感じられます。子どもたちの動きもさまざまで、活気が一瞬の切り取った中からも伝わります。

講評：当時の教室の子どもたちの体温まで伝わってくるようなドキュメンタリー・フォトとして極めて質の高い作品です。窓からさす強い光が子どもたちの顔の輪郭や服のシワ、木の机の質感を際立たせ、画面全体に強い立体感を与えています。時代の記録としても、写真作品としても素晴らしい力を持っています。

イオンモール北大路賞（1点）

傘の華（受賞者：西 正幸／撮影場所：イオンモール北大路）



イオンモール北大路に展示されていたアンブレラスカイを捉えました。

色とりどりの傘で彩るまさに傘の華のようでした。

ゼネラルマネージャーコメント：傘が写真いっぱいに広がるような構図で、ショッピングモールの日常が少し特別に感じられる作品を選出させていただきました。

講評：商業施設の賑わいと、アート展示の幻想的な雰囲気がうまく融合した、見ていて楽しい写真です。特に光の捉え方がとても上手だと感じました。さらに画面下部、中央付近を歩く黒い服の人物が良いアクセントになっています。カラフルな世界の中で黒いシルエットが画面を引き締めています。

部門優秀賞：一般部門

＜自然・歴史文化＞（1点）

蛍乱舞（受賞者：傍島 俊昭／撮影場所：上賀茂神社）



境内を流れる御手洗川で沢山の蛍が発光しながら飛び交う幻想的な景色はおとぎ話のようでした。

講評：長時間露光によって、蛍が自由に飛び回る躍動感が表現されています。手前の水面近くを這うような光や、空高く舞う光など、動きのバリエーションが豊かで見ていて飽きません。蛍の放つ「緑色の光」と、水面に反射する神社境内の灯りの暖かな「黄金色の光」の対比が非常に幻想的で幽玄な雰囲気を感じさせる作品です。

<賑わい> (1点)

走り抜ける (受賞者: 東野 正文 / 撮影場所: 北大路通)



全国から集まった高校生がタスキを繋げるために、あっと言う間に走り抜けていった。

講評: あえて色彩を排除したことで、ランナーたちの筋肉の動き、汗の質感、そして光と影のコントラストが極限まで強調されて、選手たちの内面にあるストイックな闘志や、レースの過酷さがダイレクトに伝わってきます。路面に落ちる長く濃い影が、時間の経過や日差しの強さを物語っており、画面に深い奥行きを与えています。非常に硬派で、ドラマチックな力強さを持った素晴らしいスポーツ写真です。

<とっておきの場所> (1点)

点描画 (受賞者: 下廣 誠一 / 撮影場所: 今宮神社)



今宮神社での1枚です。しんと静かに降り積もる雪景色を撮影しました。

講評: 真正面から捉えた左右対称の構図で、屋根に積もった雪の「白」、建物の「濃い茶色」、そして鍔金具 (かざりかなぐ) の「金」のコントラストが非常に美しいです。雪景色によって余計な色が排除され、神聖な建物の装飾の美しさがより強調されています。降りしきる雪の描写が、まるで日本画のような情緒を醸し出しています。

部門優秀賞：あの頃の北区部門

＜自然・歴史文化＞（1点）

京都市電 北野白梅町付近（受賞者：栗井 寛／撮影場所：北野白梅町付近）



1969 年 5 月 11 日撮影 京都市電
西大路線 北野白梅町付近 4 号系統
500 形 534 号

講評：写真の中の看板のフォントやデザインに昭和レトロな雰囲気が残っています。京都市内の路上で、路面電車（市電）と自動車が共存している当時の交通事情が偲ばれます。京都が現代的な都市へと脱皮しようとしていた時代の記録で、路面電車の車輪の軋みや排気ガスの匂いなどの記憶が蘇るような臨場感のある写真です。

＜賑わい＞（1点）

川遊び（受賞者：鈴岡 建夫／撮影場所：清滝川（中川））



中川の夏祭りは8月中旬に催される。
子どもを楽しませる水遊びは清滝川
での筏や魚つかみでにぎわう。

講評：手作りの筏に乗って遊ぶ子どもたちと、それを岸辺で見守る大人たちが、まさに「日本の夏休み」を象徴しているようです。このような川遊びができる場所が少なくなっている現在、「失われつつある豊かな日常」の記録ともいえます。フィルムカメラ特有の柔らかい空気感が、デジタル化された現代の写真にはないノスタルジーを強く掻き立てます。

<とっておきの場所> (1点)

子ども会での遠足 (受賞者: 石田 誠一 / 撮影場所: 賀茂川上流)



昭和32年。凄い高いところに乗っている！どうやって登ったんだろう。

講評：本来神聖な場所である神社の巨大な鳥居としめなわの下で、狛犬の台座にまで登ってしまった「子どもたちの無邪気さ」がとても面白いです。子どもたちの服装や仕草から見ても当時の社会風俗を伝える貴重な歴史的な資料といえるでしょう。写真を撮られる時の緊張感と高揚感が写真全体に温かいノスタルジーを与えています。

O70 (70歳以上) 賞

<一般部門> (1点)

雪の朝 (受賞者: 田中 敏雄 / 撮影場所: 今宮神社参道)



雪の降った朝に今宮神社の参道にあるあぶり餅の一文字屋和輔とあぶり餅本家根元かざりやさんの開店前のまだ人の気配が無い風景を撮りました。

講評：今宮神社の参道にある名物「あぶり餅」の店前。まだ参拝客や観光客で賑わう前の、凜と張り詰めた冬の空気が感じられます。抜けるような「空の青」、積もった「雪の白」、そして歴史を感じさせる建物の「焦茶色」の三色のバランスが絶妙です。特に、濡れた石畳が光を反射して、雪解けの冷たい空気感まで伝わってくるような質感描写が素晴らしいです。

<あの頃の北区部門>（1点）

鳥相撲（受賞者：福村 美代子／撮影場所：上賀茂神社）



土俵で力いっぱい相撲小学生

講評：上賀茂神社の立砂と相撲を画面内に捉えたアングルが、この神事の厳かな雰囲気と和やかな空気感が画面内に同居していて、この場が単なる子供相撲ではなく、「神事」であることが説明なしでもわかります。子どもたちの奮闘ぶりもこのお祭りならではの空気感をよく伝えています。

U18（18歳以下）賞（上位20点）

古都の新雪（受賞者：酒井 隆良／撮影場所：北大路橋）



一昨年、京都市内に久しぶりに雪が降った日を切り取った1枚です。毎日の様に見ていた景色が雪により新しい景色に変わり驚いたので応募しました。木々の葉が落ちているところがあり冬を感じさせる写真になったかなと思います。

講評：思い切ったローアングルからカメラを構えて、手前の雪をあえて大きくぼかして入れたことで雪のキラキラした光の粒がまるで宝石のように写っていて、とても幻想的です。暗めの露出設定で空の青さと雲の立体感が表現できています。爽やかで、見ていて気持ちの良い一枚です。これからも自分だけの視点を大切にしてください。

威風堂々（受賞者：酒井 隆良／撮影場所：北大路橋付近）



灼熱の京都に生きる野鳥を切り取った1枚。年々暑くなる中、羽根を広げ体温を下げようと試みていました。普段はなかなか見られない光景を収めることができました。

講評：これは川鵜でしょうか。濡れた羽を乾かしているこの独特なポーズは、とても迫力があります。鳥の目や、濡れた羽の質感がとてもシャープに写っていて、生き生きとした生命力を感じます。背景の緑がきれいにぼけているので、鳥の姿がくっきりと浮かび上がっているのも良いですね。被写体をしっかりと観察していろいろな生き物の「決定的瞬間」を狙ってみてください。

ゆきのこうえん（受賞者：奥山 奏／撮影場所：鎮守庵公園）



はじめての雪にドキドキ

講評：真っ白な雪景色の中に、ピンクのコートと青い帽子が際立ってとてもきれいです。長い木の影が雪の上に縞模様を作っているのも写真の良いアクセントになっています。まだ足跡のない公園にかけていく子どもの姿に、ストーリーを感じます。「何気ないけれどすてきな瞬間」を捉えたとても心温まる作品です。

しろくろ（受賞者：奥山 心／撮影場所：神光院）



ゆきがふってきれいだな

講評：とても静かで、心が落ち着くような美しい写真です。石畳の道が画面の手前から奥の門へと真っ直ぐ伸びていて、見ている私たちの目線を画面の奥へ案内してくれます。また、両脇の木々に積もった雪がまるで白い花のようで、厳しい冬の中にも優しさを感じます。正面から堂々と撮る構図は、建物の威厳や参道の美しさを伝えるのにピッタリでした。

紅葉に包まれた北区（受賞者：恒藤 灯里／撮影場所：加茂街道）



賀茂川が赤に染まっていてとても綺麗だった。

講評：目が覚めるような鮮やかさで、赤や黄色の紅葉と、青い空の組み合わせが本当にきれいです。右側の大きな木と、頭上を覆う枝が、額縁のように奥の景色を囲んでいます。そのおかげで、奥に見える川や山の景色がより引き立って見えます。下の方を歩いている人を小さく入れたので、風景のスケール感がよく伝わってきます。

鴨川と月（受賞者：岡嶋 乙樹／撮影場所：北山橋）



学校の帰り道での夏の終わり頃の鴨川と月。

講評：露出を暗めにしたことで深い青色の空と、夕日で金色に輝く雲のコントラストがとてもきれいです。画面の上部三分の二を占める空とその中央に小さくお月様を入れる大胆な構図のおかげで、宇宙の広さまで伝わってきます。川の水面に、空の雲が鏡のように映っているのもとても幻想的でドラマチックな写真です。

緑の向こうで（受賞者：藤賀 柚月／撮影場所：今宮神社）



今宮神社内にある欄干の鮮やかな朱色と夏らしい青椈がちょうどいい感じに色対比になっている所がすごくいいなと思い、この風景と友達を撮りました。

講評：とっても爽やかで季節感があるすてきなポートレートですね。モデルさんのふとした瞬間の優しい表情も、自然に捉えられていて素晴らしいです。手前の朱色の柵や画面周辺の鮮やかな青もみじがモデルさんを引き立っています。

七五三（受賞者：船越 りみ／撮影場所：今宮神社）



かわいいよね。

講評：真っ赤な紅葉が屋根のように 2 人を包み込んでいるような温かさを感じます。女の子の赤い着物と紅葉の赤、男の子の緑の袴と背景の松の木の緑、この色の組み合わせがとても鮮やかで、写真全体がカラフルで楽しい雰囲気になっています。

和を彩る紅（受賞者：村中 明隆／撮影場所：大徳寺）



大徳寺内で撮影した紅葉。

講評：築地塀の重厚な水平ラインと、空に向かって広がる燃えるような赤色のモミジの対比が美しい作品です。斜めから差し込んでくる夕陽が木々の立体感を強調し、夕暮れ時の赤みがかった雲の色がノスタルジックな古都の秋の風情を醸し出しています。非常に素直で好感の持てる作品です。

静かなひととき（受賞者：古川 愛良／撮影場所：今宮神社）



北区にあるあぶり餅は、観光だけでなく、何度も訪れたくなる特別な場所です。落ち着いた空間で味わうあぶり餅とお茶の時間は、心を静かにしてくれます。にぎやかさではなく、ゆっくりとしたひとときを大切にする北区の魅力を伝えたいと思い、この写真を撮影しました。

講評：手前のお餅にピントを合わせ、窓からの自然光をうまく利用して、タレの艶と焦げ目の質感を表現されています。また単に食べ物だけを撮るのではなく、奥に庭園を配置し、画面内に水玉模様の急須や湯呑みを取り入れることで、写真にリズム感が生まれています。見た瞬間に「おいしそう！」「ここに行ってみたい」と思わせる力がある写真です。

公園と羊と私の帽子（受賞者：井上 はな／撮影場所：今宮公園）



公園の羊の遊具に、わたしの帽子を被せて遊んでいた時の写真。

講評：羊の遊具に黒い帽子をかぶせただけで、この羊が威厳と哀愁を帯びて見えます。「帽子をかぶせる」というワンアクションを加えるだけで、見慣れたものにまったく新しい視覚的意味を与えている点が面白いです。ユーモア溢れる写真です。カメラ位置を変えてみたら、また新しいストーリーが生まれそうです。

ふながたからみたきたく（受賞者：奥山 奏／撮影場所：船形）



がんばって山のぼりしてとりました！

講評：登山の途中で見つけた素晴らしい眺めを、しっかりと記録に残せているスケールの大きな風景写真です。手前の枯れた草が写真に情感を添えています。同時に撮影者が立っている場所を表現できているのも良いセンスです。感動した瞬間にシャッターを切った素直な気持ちも写真に表れています。

南に向かって秋探し（受賞者：恒藤 灯里／撮影場所：加茂街道）



紅葉が南に向かって続いていて綺麗だった。

講評：目が覚めるような紅葉の赤と、空の青のコントラストが素晴らしい作品です。手前の力強い木の幹から、奥へと続く道路のパースペクティブもしっかりと表現されており、見る人の視線を自然と写真の奥へと誘導する力があります。季節の美しさを素直に切り取った、気持ちの良い写真です。

年末風情（受賞者：藤賀 柚月／撮影場所：建勲神社）



年末で掃除をする神職の方と奥で参拝をする外国人を撮りました。

講評：奥には拝殿に向かって手を合わせて静かに祈る参拝者人々の「非日常」があり、手前には赤いブロワー送風機を持って階段掃除する人物の「日常」があります。このコントラストが、「美しい景色は誰かの仕事によって守られている」という物語を感じさせます。

ブレイキンクラス（受賞者：名所 才門／撮影場所：やまびこくらぶ）



原谷やまびこくらぶでレッスンをしているオレンジコミュニティのリトルブレイキンクラスです！
2人で頑張っています！

講評：背景の青と白のストライプ、そして子どもたちの服のコーディネートが見事にマッチし、デザイン性の高さを感じます。逆立ちした子どもたちの面白い瞬間をよく捉えました。非常におしゃれで元気な作品になっています。日常のひとコマを、色と形へのこだわりで「アート」に変えるセンスを感じます。

あしあと（受賞者：井上 はな／撮影場所：大徳寺）



日の暮れの大徳寺の雪景色です。
明かりのついた電灯と、足跡の残った雪道が綺麗
だと思いました。

講評：画面全体を覆う雪の冷たさと、街灯の温かさ
の対比が非常に美しく、見る人の心をホッとさせ
る力があります。この一点の光があるだけで、写真
に「温もり」と「希望」のようなストーリーが生ま
れています。道にはたくさんの足跡があることで、
人々の生活の息づかいが感じられ、単なる風景写
真ではない「街の記録」になっています。

秋と和の日本（受賞者：田中 綾乃／撮影場所：大徳寺の中にあるお寺）



秋の紅葉と日本ならではの和の建物
が、融合した写真です。この日は、
よく晴れた日の午前中で良い写真が
撮れました。

講評：石畳の道と竹垣が奥へと続くパースペクティブの表現が非常に上手です。左
側の鮮やかな紅葉と、右側の白壁の建物の対比が美しく、まるで観光ポスターのよ
うな安定感があります。見る人の視線を写真の奥へと誘導する計算された構図で
す。

ゆうやけきれいだな（受賞者：奥山 心／撮影場所：家（北区西賀茂）のまえで）



とてもうつくしくとれました。

講評：息をのむような美しい夕焼けのグラデーションが素晴らしいです。ピンク、オレンジ、そして薄い水色が混ざり合う空の色は、見ているだけで感動します。日常の風景の中にある「魔法のような瞬間」を敏感に感じ取られたようです。写真では電線や電柱は邪魔なものとして避けられがちですが、この場合、あえてそれらを大きく入れることで、夕暮れ時の「生活感」や「哀愁」が表現されています。

ブルーインパルス見えたよ！（受賞者：名所 粹恋／撮影場所：千本北大路）



2025 大阪万博のブルーインパルス
が北区で見えたよ。

講評：「あ！見えた！」という興奮と、その瞬間を誰かに伝えたいという気持ちがまっすぐに伝わってくるスナップ写真です。ブルーインパルスのスモークはすぐに消えてしまうため、この一瞬を捉えるのは大変だったでしょう。手前の住宅街の屋根の向こうに、小さくとも確かに見える白いラインが、街の日常と大きなイベントの繋がりを感じさせます。

ゆずとゆづ（受賞者：吉川 栞／撮影場所：建勲神社）



ゆずを見ているゆづ(友達)を撮りました。

講評：背景の木々や果実（ゆず）を、優しいボケ味で表現することで、幻想的な雰囲気演出しています。これによって、手前の人物の髪の毛の質感や赤い欄干の存在感が際立っています。欄干の「朱色」と背景の「緑」、そしてゆずの「黄色」という配色は、日本の伝統的な色彩感覚を感じさせ、撮影場所の静けさが伝わってきます。

4 作品の展示について

（１）展示作品

ア 上記受賞作品

イ 「あの頃の北区部門」への応募作品

（２）展示場所

ア イオンモール北大路１階のセンタープラザ外周

イ イオンモール北大路館内のデジタルサイネージ

（３）展示期間 令和８年２月２７日（金）～３月１７日（火）

（事業４）インターバル速歩事業
活動拠点スタンプラリー・京都産業大学コラボの速歩イベント

1 活動拠点スタンプラリー

（１）事業概要

インターバル速歩を定期的に行っている「インターバル速歩☆ひろば」、「公園等での活動」の拠点と、2の速歩イベントの参加スタンプを集めるスタンプラリー。スタンプ台紙は毎年発行しているインターバル速歩手帳に追加し、参加スタンプ3つ以上で参加記念品を進呈、5つ以上で豪華記念品を抽選で進呈。

○実施期間 令和7年6月1日（日）（手帳発行は5月下旬）～8年3月31日（火）
（豪華記念品の応募期間は令和8年2月27日（金）まで、同年3月中に発送）

○実施場所

- ・2の速歩イベント（速歩体験会）
- ・キタエちゃん体操☆ひろば：船岡山公園広場（グラウンド）
- ・インターバル速歩☆ひろば：鴨川公園
- ・「公園等での活動」の拠点：船岡山公園、上堀川公園、穂根東公園、山ノ森公園、鷹ヶ峯公園、大門公園、イズミヤ白梅町店屋上 ※計10拠点

（２）記念品

○参加記念品（スタンプ3つ以上で進呈。先着100名）

西陣工房 くみひもミニホルダー（鈴付き）（約500円/個）

○豪華記念品（スタンプ5つ以上で応募可、抽選）

一等（1名）ハンディマッサージャー（約15,000円）

二等（2名）体組成計（約10,000円/個）

三等（3名）筋膜ローラー（約4,000円/個）

特賞（5名）さくさく工房 クッキー詰め合わせセット（約2,000円/セット）

※郵送料（ゆうパック） 880円（ハンディマッサージャー）×1個

1,200円（そのほか）×10個

（３）実績

インターバル速歩手帳発行数：1,500部（うち、1,400部は配布済み）

○参加記念品（西陣工房 くみひもミニホルダー）

25名にプレゼント済み

○豪華記念品

令和8年3月中に抽選実施し、当選者にプレゼントを発送



2 京都産業大学コラボの速歩イベント

「インターバル速歩体験会 in 上賀茂神社」(定員：50 名、募集：令和 7 年 9 月)

(1) 事業概要

- 日時 令和 7 年 10 月 21 日 (火) 午後 2 時～4 時
- 場所 賀茂別雷神社(上賀茂神社) ※芝生エリア(一の鳥居と二の鳥居の間)
- 対象 北区内在住(北区内に通勤・通学の方を含む)で、医師から運動制限をされていない方
- 参加者数 39 名(男性 7 名 女性 32 名)
- 内容
 - ア 京都産業大学現代社会学部 濱野教授・インターバル速歩マスターによる講話
 - イ キタエちゃん体操(初級編・中級編)、速歩体験会、速歩手帳の配布
 - ウ 濱野ゼミの学生・明治安田生命保険相互会社と協働での健康ブース設置
 - ・北区健康づくりサポーター・インターバル速歩マスターの活動紹介
 - ・体験型健康チェック
 - 血管年齢測定、ベジチェック(推定野菜摂取量測定)
 - 脳の元気度(認知機能)測定
 - エ 参加記念品 フェイスタオル(約 800 円/枚)

(2) 成果

実施後のアンケートでは、33 名が「これからインターバル速歩を実践しようと思う」、6 名が「現在実践している」と回答。また、38 名が「本イベントに非常に満足又は満足」と回答。



(事業5) 親子向け事業

1 事業概要

「未来の子どもたちにつなぐ」をコンセプトに北山杉をはじめ京都の伝統産業を取り入れた「木育ひろば」を設置し、この「木育ひろば」でワークショップを開催した。

北区で生まれ育っていく子どもたちが「木のぬくもり」や伝統産業を感じられる機会を創出するとともに、気軽に触れることができる場所として、今後も「木育ひろば」を周知し、活用を広げていく。

2 事業内容

(1) 「木育ひろば」(キッズスペース) の設置

- ・時 期 令和7年11月11日
- ・場 所 北区役所 西庁舎1階
- ・協 力 京都北山丸太生産協同組合
- ・利用者 健診やイベントへ来所する乳幼児、
利用を希望する北区の子ども・子育て世帯



木育ひろば



積み木

(2) ワークショップの開催

(第1回)

- ・日時 令和7年11月24日(月・祝) 10時30分～12時30分
- ・場所 北区役所 西庁舎1階「木育ひろば」
- ・対象 北区在住の親子(子どもは乳幼児～小学生)
- ・参加組数 19組
- ・内容 「木育ひろば」の紹介(北山丸太の紹介、木育ひろばの注目点)
北山丸太の端材を使ったおもちゃ作り

(第2回)

- ・日時 令和7年12月23日(火) 13時30分～14時30分
- ・場所 北区役所 西庁舎1階「木育ひろば」

- ・対象 北区在住の妊婦とその同伴者
- ・参加組数 2組
- ・内容 「木育ひろば」や乳幼児健診会場の紹介、北山杉を使ったお箸づくり



ワークショップ（１）
「おもちゃづくり」



ワークショップ（２）「お箸づくり」



4 周知

市民しんぶん北区版、北区役所ホームページへの掲載、母子保健事業を通じた区民への周知、ラジオミックス京都

(事業6) コンポスト事業

1 概要

循環型社会に向けた取組として、区民の皆様の環境意識を一層高めるため、家庭で簡単に出来るコンポストづくりの講座を実施。講座に参加した区民には、上賀茂神社の落ち葉を基にした「落ち葉堆肥」を配布し、各家庭でのコンポスト作りにも活用していただく。

また、後日、その一部を持ち寄って、区役所の花壇づくりと苗植えを行い、来庁者を花でお迎えする。

(協力：京都市ごみ減量推進会議、北部農業振興センター、東部まち美化事務所)

2 事業内容

(1) 第1回講座「はじめてのコンポストづくり」講座

コンポストの説明（生ごみ分解の仕組み等）、実践（デモンストレーション）、メンテナンスの方法等を説明・実践。

	日時	場所	参加者数
1	10月24日（金） 10時～11時	北区役所	22名
2	10月24日（金） 14時～15時	イズミヤショッピング センター白梅町	18名
3	10月25日（土） 10時～11時	イオンモール北大路	18名
合計			58名

* 申込者数は95名

* 受講者全員に上賀茂神社の落葉堆肥とイオン株式会社からの再生植木鉢を贈呈



～参加者アンケートより～

◇アンケート回答者の98%が、講座を受講して「とても満足」「満足」と回答。

◇受講者の主な感想は以下のとおり。好評な意見が多かった。

- ・初心者でもわかりやすい内容だった。経験者の話も聞けて勉強になった。
- ・コンポストについて改めて学ぶ機会があってよかった。質問にも丁寧に答えてくださって嬉しい。
- ・知りたい情報やアイデアをもらえた。
- ・思ってたより簡単そうだと始めやすそうでした。
- ・コンポストに興味がありましたが、きっかけがなくて、講座を受けて割と簡単だということがわかって良かった。 など

(2) 第2回講座「コンポスト品評会及び花壇づくり」

受講生が作成したコンポストを持ち寄り、その状況を確認した後、その一部を区役所の花壇に入れて、既存の土を馴染ませる「花壇づくり」を実施。

- ・日時 2月16日(月) ①13時30分～2時30分 ②15時～16時
- ・場所 北区役所本庁舎 2階 第2会議室 及び 花壇(2か所)
- ・参加者数 16名



(3) 第3回講座「上賀茂神社で循環生活！」

ア 日程 3月29日(日) 午後2時～3時30分

イ 場所 上賀茂神社

ウ 参加者数 18名

エ 内容 「葵プロジェクト」の説明、フタバアオイの贈呈、境内散策

オ 贈呈 フタバアオイ、イオン株式会社の再生植木鉢、コンポスト等





3 その他 ～有志による区役所花壇への花の苗植え～

○日時 3月16日(月) 午後1時30分～

○場所 北区役所 花壇

○参加者数 受講者13人、職員及び関係者10人

○内容 区役所の花壇に苗を植え、「70」の文字を描く。



（事業7）北山杉製記念品贈呈事業

1 概要

北区内のすべての小学校の新1年生（約 900 名）に、北山杉で作られた記念品（定規・15cm）を贈呈

2 実施時期

令和7年9月



贈呈式（紫野小学校）



(事業8) 市民しんぶん北区版 北区制70周年記念特集号

1 概要

北区制70周年を記念した特集号を作成し、市民しんぶん北区版(8月15日号)に挟込み。

(1) 発行年月日

令和7年8月15日

(2) 発行部数

51,270部(ほか点字版:22部、音声版:カセット16本・CD41枚)

(3) 発行元

北区制70周年記念事業実行委員会

(4) 形式

タブロイド判 4ページ、4色刷、左綴じ、横書き

2 掲載内容(詳細は別紙のとおり)

(1) 1面

ア 地域活動(夏まつりや運動会など)の写真(北区の18学区)

イ 挨拶(北区制70周年記念事業実行委員会 実行委員長 池坊 専好)

ウ 挨拶(京都市長 松井 孝治)

(2) 2面・3面

区民の皆様24名(学区ごとに1~2名ずつ)へのインタビュー。

<テーマ>

- ・ 北区の良いところはどこですか?
- ・ 10年後の北区に、どうなっていてほしいですか?

(3) 4面

ア 北区70年の歩み(1955→2025)

イ 挨拶(北区長 川妻 聖枝)

ウ 協賛企業・団体・個人(敬称略・五十音順)の紹介

（事業9）西陣織（絹織物）機織り体験事業

1 概要

北区にゆかりの伝統文化に触れていただくため、西陣織（絹織物）の機織り体験会を実施する。

2 内容 「西陣織（絹織物）の機織り体験会」を実施。

龍村光峯錦織工房のご協力をいただき、機織り体験を実施するとともに、錦織の美術作品や復原した古代の織物等について解説いただいた。

	日 程	時 間	参加者
1	1 月 2 3 日（金）	午前 10 時～12 時	平織（5 名） 綾織（1 名）計 6 名
2		午後 1 時 30 分～3 時 30 分	平織（6 名） 計 6 名
3	1 月 2 4 日（土）	午前 10 時～12 時	平織（5 名） 綾織（1 名）計 6 名
4		午後 1 時 30 分～3 時 30 分	平織（3 名） 綾織（1 名）計 4 名
5	1 月 2 5 日（日）	午前 10 時～12 時	平織（3 名） 計 3 名
6		午後 1 時 30 分～3 時 30 分	平織（4 名） 綾織（1 名）計 5 名
			合計 3 0 名

*定員は各回とも平織5名、綾織1名

3 参加者の声（アンケートより）

◇回答者全員が機織りを体験して「とても良かった」と回答。

◇主な感想は以下のとおり。好評な意見が多かった。

- ・ 子供の頃からあこがれていたもので体験できてうれしかったです。作品は大切に飾ります。
- ・ 織物の歴史、構成、作り方等、詳しく教えていただき、興味も深くなりました。
- ・ 身近な場所で貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。一度体験してみたいと長年思っていました。
- ・ 知らなかった事も知れましたし、たくさんのきれいな織物を見られました。奥が深いと感じ、京都の誇りだとも感じました。
- ・ 自分が住んでいる所の文化を知ることができて面白かった。

4 開催の様子など

